

eco・プロジェクト

— チーム・テレサ チーム・ガリレオ チーム・コロムブス —

eco (ボランティア系)
チーム・テレサ ボランティアを通じ、人のために役立つ喜びを経験する活動

【ペットボトルキャップ回収】



平成20年から回収しているペットボトルキャップが500万個になった。創立130周年までに1000万個を達成したい。



500万個達成

【一人一本苗木育成プロジェクト】



生徒・児童・園児らが1個のドングリの実を1本の苗に育て、やがて『作新の森』にしてゆく。



実生の苗が、5年後・10年後どれほど成長するか楽しみだ。

【フォーラムin足尾】



平成16年から始まった足尾での植樹活動は700本を超え、大きな森になっている。

二酸化炭素排出削減40%
ポリオワクチン6,501人分

eco (実験発明系)
チーム・ガリレオ 科学技術によって破壊された環境を、科学技術によって蘇らせ保護してゆく活動

【アースくんZ】



震災で壊れた貯水槽を再利用した移動式貯水槽。雨水を溜めて一人一本苗木活動に生かしてゆく。

【鉱山廃水クリーンプロジェクト】



足尾の鉱山廃水処理の研究を進めている。

eco (国際交流系)
チーム・コロムブス 国境を越え、世界の子供たちとともに地球環境保護に取り組んでゆく活動

【台湾研修】



台湾の生徒との環境交流。すべて英語で行われ、コミュニケーション能力を高めている。



アフリカ1万足プロジェクト



JICAの協力のもと、アフリカの子供たちに靴を贈る運動に取り組んでいる。創立130周年までに1万足達成を目標とする。

東日本大震災救援活動

— 東日本被災地復興支援プロジェクト —

【メッセージ雑巾作製】



仮設住宅に届けるため、励ましのメッセージを添えた雑巾を作製している。5000枚が目標。

【窓拭き隊】



窓拭き隊として2回目の七ヶ浜仮設住宅訪問。

【作新の森-防災林植樹】



気仙沼のドングリと作新のサクラで被災地に『作新の森』を創る。

被災地に対し、平成23年から行っている“オール作新”による活動

「作新民。」その“人間力”で、世界を変える、未来をつくる!

作新学院は、
来年初立130周年を迎えます。
長い歴史を通し、作新が一貫して育んできたもの、それが「人間力」です。
「創造力」「国際力」「コミュニケーション力」「社会貢献力」「あきらめない力」という5つの力を結集し、「文武両道プラス、ボランティア」という三本柱で私たち「作新民」は明日の世界を切り拓いてゆきます。

ドリーム・キャンパス・プロジェクト

「みんなで考える(結集)・みんなで作る(手作り)・みんなに伝える(発信)・みんなのために(貢献)」をねらいとし、130周年に向け進めていくプロジェクト

【創造樹】



情報科学部3年中島 和也の作品

コンセプトは、誰もが使える空間・日々変化する空間・人がかかわることによって完成する空間

【イメージキャラクター「らいぬ」】



幼稚園青3組 いもと だいきの作品

コンセプトは、頭がライオンで胴体が犬。前足の「鎌」で友達をいじめる悪い人を捕まえる。

S・S・H (スーパー・サイエンス・スクール)

文部科学省から指定を受け、将来の国際的な科学系人材を育てることをねらいとした活動

【アメリカ研修】



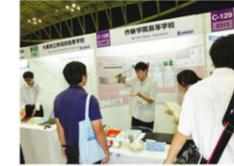
科学アカデミー見学。水族館の「裏側」で、水質維持のための浄化システムを研修する。

【先端科学体験】



研究者とのコミュニケーションをとりながら再生医療や人工臓器の研究の最前線にふれる。

【全国大会での発表】



パシフィック横浜で開催された全国大会。いかにみんなに分かりやすくプレゼンテーションできるかが課題だ。

【科学英語講座】



コミュニケーション力を高めるチャンス。(左)英語で授業を受ける。(右)メキシコの先生方とのランチ。

生徒たちの活躍

— 世界で日本で輝く — 部活動やコンテストで掴んだ数々の栄光



5冠 水泳部(競泳) 菊池 優奈



6冠 水泳部(飛込) 榎本 遼香



2冠 ボクシング部 高倉 久生



文部科学大臣賞 書道部 高嶋 英俊



県史上初 3年連続甲子園出場 硬式野球部



国体優勝 弓道部 (左)大出 友里恵 (中央)高橋 瑠奈



フューチャー賞(学生部門1位)



国際コイン・デザイン・コンペティション2013 青木 渚



インターハイ優勝 自転車競技部 福田 礼佳



3冠 パワーリフティング部 花田 結衣